

2019年度 自然の不思議－物理教室

主催／日本物理学会・日本物理教育学会・国立科学博物館

第1回
講座名：「船の汽笛の音がする「ゴム手袋ホーン」をつくろう！」
開講日： 6月9日(日) 私立三浦学苑高等学校 車田 浩道 先生
申込締切： 5月19日(日) 工作・実験を通して、音について考えてみましょう。身近な紙筒、ゴム手袋、ストローを使って「ポー」という大きな低音の音（船の汽笛）になる楽器（笛）を作ります。

第2回
講座名：「見守っている羊、かくれんぼする子どもなど不思議な錯視」
開講日： 6月22日(土) 元千葉県立船橋高等学校 船田 優 先生
申込締切： 6月2日(日) 人数が増えたり減ったりしてかくれんぼしているように見える画像を体感しよう。また見方によって別なものに見える画像も紹介します。

第3回
講座名：「ダイオードで遊んでみよう」
開講日： 7月6日(土) 東京学芸大学附属高等学校 市原 光太郎 先生
申込締切： 6月16日(日) 最近一般的になったLED（発光ダイオード）についてお話し、それや光センサなどを組み合わせて、簡単な回路を作ります。

第4回
講座名：「星の距離を測るのはどれだけ難しいのでしょうか？」
開講日： 7月20日(土) 国立天文台 三好 真 先生
申込締切： 6月30日(日) 現在、位置天文衛星GAIAが銀河系の中の星々の動きと距離を測定しています。星の距離測定は年周視差法と呼ばれる方法が一番正確だとされています。この方法のすごさ、大変さを紹介します。

第5回
講座名：「下敷きスピーカーの製作」
開講日： 8月3日(土) 中央大学 村石 幸正 先生
申込締切： 7月14日(日) 電磁石の性質を実験をしながら確認をしていきます。また、音の性質について、手を動かしながら確認をしてきます。その上で、その両方が組み合わさった、スピーカーを、下敷きを用いて、極々簡単ものを製作します。

第6回
講座名：「磁性流体を作ってみよう」
開講日： 8月18日(日) 電気通信大学 中村 仁 先生
申込締切： 7月28日(日) 磁石を近づけると動いたりとがったり、不思議なふるまいをする磁性流体という液体があります。

会場：国立科学博物館（上野本館 地球館 3 階実験実習室）

時間：午後2時～3時30分

対象：小5～中3、高校生の参加も歓迎いたします（参加費：保険料50円）

申込：①講座名・日時 ②氏名(フリガナ) ③学年 ④住所 ⑤電話番号 ⑥国立科学博物館「友の会」会員の方は会員番号を記入した往復ハガキ、またはWebページからお申し込みください。詳しくは、国立科学博物館Web ページ内のイベントカレンダーをご覧ください。
<http://www.kahaku.go.jp/>

お問い合わせ：〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20 国立科学博物館 学習企画・調整課 学習支援事業担当
TEL: 03-5814-9888(平日・開催当日 8:30～17:00)

* 各講座ごとに受付

** 応募者多数の場合抽選